

学部優秀部門奨励金

(理工学部 2020年3月卒業)

僕の甲南大学

甲南大学で過ごした四年間は私にとって、とても実のあるものであったと感じております。特に、甲南大学90周年記念栄誉特待生に選んでいただいたからの1年半はとても充実したものになりました。

特に、この一年間の卒業実験を通して、たくさんの充実した経験ができたと感じております。卒業実験では、自分のテーマを持ち、自分自身で研究することをしていきますが、正直その過程は大変な努力と、少しばかりの運が必要になってきます。私は実験がうまくいかず、なかなか思い通りの結果が出ない日々で、また、教員採用試験や教育実習が実験と重なって、押しつぶされそうになった時がありました。しかし研究室の教授や、指導してくれる先輩・友人は、実験のアドバイスだけでなく、実生活でもアドバイスや、励ましの言葉をかけてくれ、色々な場面で助けていただきました。そんな教授や先輩方・友人には、本当に感謝しております。

また、たくさんの人前で話す(プレゼンテーションする)機会もたくさんいただきました。これは、本当に良い機会をいただけたと思っております。人前で話すには、たくさんの準備とどのように話すかが重要になってきます。学会などの発表では、しっかりと研究内容が聞いている人に伝わらなければならないですし、高校生に対して甲南大学について話す時には、甲南大学の魅力や良いところを伝えなければ意味がないので、本当に、どのように話すかは大事になってくると感じさせられました。このような経験ができたのは、本当に甲南大学のおかげだと思っております。

様々な経験をさせてくれた甲南大学には本当に感謝しております。ありがとうございました。

これからの抱負としましては、来年度から兵庫県の中学校の教員として働くことが決まっておりますので、今までの経験を子供達に伝えられたらなと思っております。特に、努力について伝えられたらと思っています。私の卒業実験は、いくら努力してもなかなか良い結果が出るようなものではありませんでしたが、その努力は無駄にはなっていないと思いますし、その努力は教授や先輩方が見ていてくれました。そのような努力しても報われない経験が、中学生にもきっとあると思うので、そのような生徒を目の前にした時には、自分も同じような経験をしたことがあり、気持ち的には悔しい、苦しいと思うかもしれないけれど、その目標に向けて努力したことは消えないし、その努力は、誰かへの励ましになり、勇気になるかもしれないということが伝えられたらと思います。

そして、授業では、人前で話した経験を踏まえて今の中学生にどうやって話せば、伝わるのかをしっかりと考え、何を伝えるべきかをはっきりとして、準備を怠らず、伝えていければと思います。また、甲南大学の『徳・体・知』を忘れずに、自分自身もその『徳・体・知』を磨いていけるような教師になり、生徒たちにもその『徳・体・知』を磨いていけるような姿勢で教えていきたいなと思っております。